

四年生連絡協議会結成についての動議

東洋史4年クラス
決議

この年采に至るまでの諸波問題は今年決定的時期にさしかかっている。現在我々は文学部自治委員とし、スケリヤキアリテのこ斗つてこら。しかしもがこの最上級学年として他の学年の諸君と共に解決すべき問題以外にも多くの問題をつきつけられている。(即ち、明後日29日には、オニセ教養実習オリティが行なわれようとしている)つまりこれを拒否する事は我々の教育界への就職の道の金縛を意味するのだ)我々は、一これらの問題が学友一人一人の決意の問題であると確認すると同時に、我々の手を固いスクラムの中で進めていく点が重要であると確認する。そしてその固い四年生のスクラムが同じ様な問題を有する文学部の全四年生の討論と方針決定の場の保証によつてしか獲得できない点で意見が一致した。

我々は、以上の様な確認点に立脚して、ここに「四年生連絡協議会」の設立を、全学友に提起するものである。そして、具体的には次の様な点を同時に提起したい。

- 一、本日、大会終了後、各専攻責任者(個人でも可)による連絡の徹底。
- 二、八日、午前、各専攻の討論(各自治委責任)
- 午後一時、四連協オ一回、総会

議題

役員選出

基本方針の決定・規約

二九日の教育実習オリティ

- 一、規約役員の決定選出は、オ一回にかぎり、結集した部分の単純多數決とする。
- 一、筑波斗争指導機関は二の四連協決定を尊重する事。

なお、二八日の総会の開会までは、東洋史4年クラス(責任自治委)が事務的任務を推行する。